



成瀬ダム堤体打設工事

工事だより

[第13号]

[発行元] 2021年4月発行
 鹿島・前田・竹中土木JV 成瀬ダム堤体打設工事事務所
 〒019-0803 東成瀬村椿川字立石30-1
 TEL: 0182-23-5185 WEBサイトはこちら
 FAX: 0182-23-5186 (担当: 松村) www.narusedam.jp



工事に関してご不明な点がございましたら、お気軽にお電話ください。

豪雪を乗り越え、いよいよ工事が本格的に再開いたします



ダムサイト全景（下流より）2021年3月撮影

工事概要

工事名	成瀬ダム堤体打設工事(第1期)
発注者	国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所
工事場所	秋田県雄勝郡東成瀬村椿川地内
水系	1級河川 雄物川水系成瀬川
地質	緑色凝灰岩・凝灰角礫岩・凝灰質泥岩
工期	2018年5月9日～2022年12月9日 (1,675日、約55ヶ月)
ダムの目的	洪水調整 (F) ・ 流量機能維持 (N) ・ 農業用水の補給 (A) 水道用水の供給 (W) ・ 発電 (P)

今後の予定

4/1	安全大会・安全祈願
4/6	職長会パトロール
4/20	職長会パトロール
4/22	安全衛生委員会
4/29	災害防止協議会
5/2～5	GW現場全休

4月1日現在の人数 元請職員 81人
 作業員数 374人
 合計 455人



左岸（施工状況）
2021年3月撮影



右岸（施工状況）
2021年3月撮影

現況報告

今号から新デザインで発信しています。工事再開にあたり、豪雪による被害状況や雪崩危険箇所等を念入りに点検し、安全を確認した上で現場内各所の作業を始めています。また、昨年度に「安全運転意識の向上」を目的として参加した「無事故・無違反競争」において、JV職員全員(全12チーム・計84名)が無事故無違反を達成し、横手警察署から表彰状を受領しました。現場内のみならず公道における「交通安全」にも留意し、今年度も工事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



〔除雪ボランティア（1月26日）〕
現場HPのトピックスにも掲載



〔山本地域振興局主催の研修会（2月26日）〕
奈須野所長が工事現況等について説明しました。



〔無事故・無違反達成の賞状〕
横手警察署長名の賞状を受領

ご挨拶

自動化グループの黒沼 出（くろぬま いづる）と申します。当グループは次世代建設生産システム「A⁴CSEL(クワッドアクセル)」を用いた自動化施工の運用を行い、私は主にブルドーザを担当しています。A⁴CSELは鹿島の技術研究所において2009年度から基礎研究を開始しました。初めは振動ローラの自動化から着手しその後ブルドーザやダンプトラックの開発へと進めていきました。どのようにブルドーザを動かしたら目標の形に敷均せるのか？ 先ずは熟練オペさんがどのように操縦するかを計測し再現するところから始め、現在ではパソコン上で上手な敷均し方法を計算できるまでになりました。昨年の7月から自動化施工を開始しましたが、昼夜を問わず連続して動き続ける自動化重機を見ながら「やっとここまでできたか」という思いでした。

冬の中断を挟んでこの4月から2期目の自動化施工が始まります。冬の間に改良を重ね、昨年以上に多くの範囲を自動化重機で施工できるようになりました。新しい土木工事の世界を東成瀬村の皆さまに見て頂けるよう頑張ります。



鹿島・前田・竹中土木
 特定建設工事共同企業体
 成瀬ダム堤体打設工事事務所
 次長（自動化Gr）
 黒沼 出（鹿島建設）

工事3グループの板谷 輝彦（いたや てるひこ）と申します。一昨年より成瀬ダムに従事しております。工事3グループは、ダム内部の点検用通路や外部コンクリート、取水設備等構造物を構築するグループです。私の出身は北海道ですが、ここ数年、山形県で風力発電所工事、岩手県で震災復興工事に携わっており、今回の成瀬ダムでは秋田県と、東北地方には縁があると思っています。

約10年前、北海道当別町で日本で初めて完成した台形CSGダムの当別ダムに従事しており、その経験を生かしてより良い作品を作りたいを思っております。CSGダムは、一般的なコンクリートダムに比べ施工スピードが速く、今年度は右岸側を約30m構築する予定です。是非、工事の進捗状況を見に来てください。

資材搬入車両や作業員通勤車両が昨年より多く、交通面でも地元の皆様にはご迷惑をお掛けする場面があるかと存じますが、引き続きご協力を賜りたく、今後ともよろしくお願いたします。



鹿島・前田・竹中土木
 特定建設工事共同企業体
 成瀬ダム堤体打設工事事務所
 課長（工事3Gr）
 板谷 輝彦（竹中土木）